

## 令和元年度第2回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時：令和元年7月11日（木）午後3時

場 所：ネッツたまぐーセンター会議室

出席委員（敬称略）：河東義之、稲葉政満、馬場憲一、沖川伸夫、保坂一房、  
久保田正寿、西村慎太郎

欠席委員（敬称略）：山本勉、棚橋正道、神庭正則

事務局：浜中茂教育部長、北村和寛文化課長

木下裕雄郷土博物館管理係長、岡本拓也郷土博物館管理係主任

開会（文化課長進行）

### 1 あいさつ

### 2 諮問事項

#### (1) 青梅市天然記念物の指定解除について

事務局から、青梅市天然記念物の指定解除について説明。

質疑・応答・意見

特になし。

### 3 協議事項

#### (1) 「森下陣屋のカシ」の青梅市指定天然記念物の指定解除について

事務局から、昨年10月に発生した台風24号の影響により倒木した、青梅市指定天然記念物「森下陣屋のカシ」の指定解除および前々回、前回の協議内容をもとに作成した答申案について説明。

質疑・応答・意見

【委員】「記録保存を検討する」とあるが、輪切りにしたものを熊野神社に展示するというものもあるのか。

【事務局】輪切りは3つあり、そのうち2つは地元自治会で保管、もう1つは市に寄贈し、郷土博物館または旧稲葉家住宅で展示する案と、地元の中学校の教材として活用できないか内部で検

討している。

【委員】地元からの要望書には沿えないという結論ではあるが、その内容については、地元伝えてあるのか。

【事務局】要望書に沿えない旨は説明している。

【委員】答申の内容で、滅失届が提出されたのが7日で、受理したのが8日でよろしいか。

【事務局】そのとおりである。

【委員】青梅市文化財保護条例第39条の規定にもとづく諮問は何日以内か。

【事務局】青梅市の場合はない。

【委員】解除ということで、審議会で同意を得て、答申として教育委員会に提出とする。

【委員】「森下陣屋」という言葉は、文化財として出てこなくなるのか。

【事務局】市の旧跡に指定されている「森下陣屋跡」がある。

## (2) 旧吉野家住宅の保存活用計画の策定について

事務局から、東京都指定有形文化財の旧吉野家住宅の保存活用計画の策定について説明。

### 質疑・応答・意見

【委員】東京都も国と同じように、保存活用計画を策定しているものから予算を付けるような流れになっている。保存活用計画に書いていないことが突然必要になっても補助金が出ないので、文化財の価値をはっきり分かるように丁寧に書いておくと、将来、修理や活用する時に、その価値にどう触れるかという点で、その内容が決まっていくので大切になる。

【委員】資料2-1の経過に、「令和3年度以降の東京都指定文化財保存事業計画を提出している」とあるが、計画を出さないと修理工事が行えないという意味か。

【事務局】そのとおりである。保存活用計画の策定が年度末までかかる予定なので、予算の時期としては、修理工事は令和3年度

以降ということで保存事業計画を東京都に提出した。

【委員】保存活用計画の策定はいつまでか。

【事務局】令和3年度の予算の時期になるが、資料の準備をするので、もう少し前になる。

【委員】修理する前の年度くらいまでに保存活用計画を出すということである。

【委員】福島家住宅の管理計画を、機会があれば見せてほしい。

【事務局】平成29年度に、福島氏と東京都と協議しながら作成したものである。

【委員】福島家住宅は、庭なども含めて指定に入っているが、旧吉野家住宅の保存活用計画を作る際には周りの整備されていない場所も考えた方が良いのではないか。

【事務局】旧吉野家住宅の活用については、地元の方からも、市民と市長との懇談会で意見があった。そのため、地元の方々と審議委員の中から何人かで検討委員会を立ち上げて、協議したいと考えている。

【委員】この審議会の中でも意見を求めたいと考えている。

【委員】吉野家にあった古文書は東京都の指定になっているが、活用計画に入れて良いものなのか。

【事務局】福島家住宅も建物だけではなく資料も活用しているので、吉野家住宅についても同様に考えている。

【委員】周辺の敷地や古文書などを含めて活用しておいたほうが良いと考える。まだ協議会は発足していないが、資料のとおり、この流れで保存活用計画の策定を行うことでよろしいか。

【委員】異議なし。

### (3) その他

#### 質疑・応答・意見

特になし。

## 4 報告事項

- (1) 平成31年度第1回青梅市文化財保護審議会会議録について  
事務局から、平成31年度第1回青梅市文化財保護審議会会議録について説明。

質疑・応答・意見

特になし。

- (2) 指定文化財の修理状況について  
事務局から、指定文化財の修理状況について説明。

質疑・応答・意見

【委員】旧稲葉家住宅と海禅寺の2件は補助金をもらっているのか。

【事務局】そのとおり。12月の補正予算で提出した。

【委員】旧吉野家住宅に付随した味噌蔵は指定文化財に入っていないが、保存活用計画の中に入れて、復元することができたらいいと考える。

【事務局】保存活用計画の策定の中で検討する。

【委員】味噌蔵は解体して、土壁の素材も含めて保存してある。

【委員】旧吉野家住宅の東京都の文化財指定の時に外れていたが、十分価値があると思う。

【委員】早稲田大学が調査をした昭和40年頃にはもう無かった。

【事務局】その話は確認する。

【委員】付属建物の素材があつたり、場所や年代が分かる場合は追加指定に持っていけるのではないか。

5 次回の開催について

【事務局】次回は10月上旬を予定しているが日程調整のため難しい日や曜日があれば知らせてほしい。もし、日程が合わないようならば、もう少し先送りするが、来年度の事業計画をこの時期に説明したいと考えている。

閉会（会長）